



三セク事業の結果への評価は

町長

反省しこの経験を次に活かす

◆ 西脇 康 議員

不安の声が多い中、国は現行の健康保険証の廃止を決めた。マイナ保険証の使用、更新時について、資格確認書の利用等について問う。

本町におけるマイナ保険証の利用率は、国民健康保険11・7%、後期高齢者医療保険7・92%。



関連会社開発予定地

答

民間等との協働を不可欠と考え、第三セクター方式を採用して、観光産業の活性化などに取り組んだことは、手法としては有効であり、期待の持てる事業であったと評価している。結果として、成果を上げることができなかつたことは、関係者と十分な情報共有に至らず、設立前後の時期に足並みが揃わなかつたことと、エイキット株式会社の町内での施設整備が想定以上に期間を要した事が影響したと考へている。

答

道を挟んだ北側を開発しているJ-Tシ株式会社の見通しは。

会社の関連会社であるJ-Tシ株式会社の開発については、やや遅れないと、広報等を活用し周知する。

答

非常時の携帯トイレ等の備蓄は

町長

備蓄品の検討・整備に取り組む

◆ 早崎百合子 議員

子ども基本法が施行され、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会を目指す。

社会についての考え方。



トイレトレーラー RECAMP 養老にて

答

通常のトイレの使

こどもまんなか社会の現状は

答

断水などにより、しっかりと反省し、これからの中づくりを進めるまでの糧としてい

答

簡易トイレは。

こどもまんなか社会の現状は

答

トイレ使用時の排せつ物の処理に必要なビニール袋及び凝固剤のセットを3万4千600回分備蓄している。

答

南海トラフ巨大地震で予測される大想定避難者数の3千334人分の災害想定に基づき備蓄を進めている。想定以上の被害となることも考えられるため、必要な備蓄品の検討や整備に取り組んでいく。

答

携帯トイレは。

こどもまんなか社会の現状は

答

南海トラフ巨大地震で予測される大想定避難者数の190基ある。町の最大想定避難者数で計算した場合、18人に1基のトイレが確保される。

答

保育園・こども園など未就児の育ちサポートは。

こどもまんなか社会の現状は

答

妊婦健康診査費用等を助成し、経済的負担を軽減する。出産後は、各健診費用の助成、支援アプリ「母子手帳」を活用し、必要な情報を発信している。

答

妊産婦の支援、母親と小さな子どもの経済支援は。

こどもまんなか社会の現状は

答

子育て支援をはじめ、「じめ、一じごも・若者が生き生きと成長でき、安心して子育てができるよう保健や医療の充実、経済的なサポートをする。

答

いじめや児童生徒の困り事を早期発見・早期対応するための「心のアンケート」の実施、児童生徒の悩み相談や適応支援を行う「ほほえみ教室」の設置など、困り感の解消に向けて取り組んでいる。

答

小中学校の居場所づくりは。

こどもまんなか社会の現状は

答

情操教育の場として親子観劇やコンサート・体力向上教室などを実施。異年齢交流などを設けて児童生徒が交流する場を設けている。



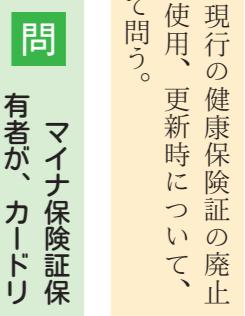
トイレトレーラー RECAMP 養老にて



◆ 清水由美子 議員

不安の声が多い中、国は現行の健康保険証の廃止を決めた。マイナ保険証の使用、更新時について、資格確認書の利用等について問う。

本町におけるマイナ保険証の利用率は、国民健康保険11・7%、後期高齢者医療保険7・92%。



◆ 佐野伸也 議員

子ども基本法が施行され、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会を目指す。

社会についての考え方。

